

# 情報戦・認知戦ニュースレター

## Point!! 本ニュースレターのまとめ

### ●情報戦・認知戦、偽情報事例

イランにおいて軍事衝突が始まって以降、ボットネットワークが生成AIコンテンツを組織的に拡散し始めた。オーストラリアでは生成AIを用いて作成された捏造コンテンツが反移民感情の扇動に利用され、ブルガリアでは威嚇するプーチン大統領の画像を生成するために利用されている。

### ●ディスカッション

ソーシャルメディアのフィードアルゴリズムは我々の政治的態度を変えうるのか。『ネイチャー』誌に掲載された論文はこういった関心のもとX上の時系列フィードとアルゴリズムフィードの影響を分析した。その結果、アルゴリズムフィードはユーザーの政治姿勢をより保守的にすることが明らかとなった。

### ●イベント・フォーカス：世界の選挙

日本では2月の衆院選で対外的なアクターによる影響工作の事例が報じられた。選挙は対外的な干渉の標的になりやすいが欧米諸国では本年、どのような状況が報告されているのか。ここでは2026年4月に選挙を控えるハンガリーと1月にすでに選挙を終えたポルトガルでの影響工作・偽情報関連の報告を紹介する。

## PickUp!! 情報戦・認知戦、偽情報事例

### ●「AIのポーリン・ハンソンを利用してオーストラリア人を騙す外国のFacebookアカウント」(ABC News Verify)

オーストラリア放送協会 (Australian Broadcasting Corporation: ABC) の「ABC NEWS Verify」によれば、生成AI技術を利用して作成された偽りの動画が主にベトナムを拠点とする20のFacebookページで確認された。「Inside Australia」というページには女性がオーストラリア英語のアクセントで移民政策を激しく非難する生成AI動画が投稿されており、「UK Diaries」にはイギリス国旗を背景にイギリス英語のアクセントで移民政策を非難する類似した動画が投稿されていることが確認された。(画像1参照)。

Michael Workman, Matt Martino and Lucy Carter, "Foreign Facebook accounts using AI Pauline Hanson to manipulate Australians," ABC News Verify, March 11, 2026.

(画像1) オーストラリアの移民政策を非難する生成AI動画



出典：ABC Verify News

### ●「イランの組織的なキャンペーン - 戦争ナラティブを操作するためのディープフェイクの利用」(Cyabra)

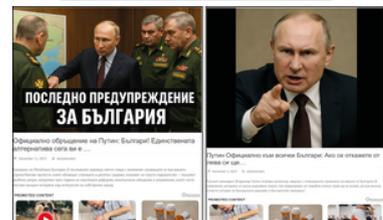
サイアブラ社 (Cyabra) の調査によると、2026年2月28日にイランに対する大規模な軍事作戦が開始して以降、複数のソーシャルメディアにおいて組織的なネットワークによる情報発信が確認された。TikTok、Facebook、X、Instagramでは、偽アカウントのネットワークが地域のランドマークや都市に対するイランの攻撃を描写した生成AI動画を拡散し、これらの動画は2週間足らずで1億4500万回以上の再生回数を記録した。この活動はイランを戦争における支配的な勝者として描写しようとしていたと指摘されている。

"Iran's Coordinated Campaign: Deepfakes Used to Manipulate the War Narrative," Cyabra, Mar 13, 2026.

### ●「ブルガリアの組織的Facebookネットワーク、利益目的で捏造された政治コンテンツを拡散」(DFR Lab)

アトランティック・カウンシル (Atlantic Council) のデジタル・フォレンジック・リサーチ・ラボ (DFRLab) はブルガリアを標的として協調的に運営されているFacebookアカウントやページが特定のウェブサイトへの誘導を行っていると指摘する。そのウェブサイトとは「Dailystandart」という名称で、ブルガリアに関連した捏造記事を発信している。例えば、2025年秋にブルガリア国内で抗議運動が発生し、同国のユーロ加盟が近づいた際、同サイトはプーチン大統領がブルガリア国民に外部勢力に対する依存を警告する捏造された見出しの記事を拡散した。記事には、恐怖心を煽ることを意図したであろう威嚇の表情のプーチン大統領の画像が添えられていたが、これは生成AIで作成されたものであった (画像2参照)。

(画像2) プーチン大統領の生成AI画像



出典：DFR Lab

Sopo Gelava, "Coordinated Bulgarian Facebook network amplifies fabricated for-profit political content," DFR Lab, March 9, 2026.

## PickUp!! ディスカッション

### ●「Xのフィードアルゴリズムがもたらす政治的影響」(Nature)

ソーシャルメディアのフィードアルゴリズムがもたらす政治的態度への影響はこれまでほとんど否定されてきた。しかし、Xではどうだろうか。『ネイチャー』誌 (Nature) に掲載されたゴティエラ (Gauthier et al., 2026) の論文は、2023年7月から9月にかけてXの時系列フィード (「フォロー中」タブ) とアルゴリズムフィード (「おすすめ」タブ) の機能を用いた実験を実施した。具体的には、(1) ユーザーの時系列フィードをアルゴリズムフィードに変更する実験、(2) ユーザーのアルゴリズムフィードの機能を無効化する実験、である。その結果、以下のような発見があった。まず、時系列フィードからアルゴリズムフィードに切り替えた場合、ユーザーの政策や時事問題に対する態度はより保守的なものに変化した。例えば、トランプ大統領に対する刑事捜査を「完全に容認できない」と考える傾向が高まったり、ウクライナ侵攻について親露派的態度が強くなる傾向が確認された。一方で、アルゴリズムフィードの機能を無効化した場合には (時系列フィードに切り替えた場合)、政治的態度の変化は見られなかった。また、アルゴリズムフィードにおいては保守的なコンテンツが優先表示されていること、伝統的なニュースメディアアカウントの表示頻度が低下すること、保守派アカウントをフォローする傾向が強まることも明らかとなった。

[Germain Gauthier, Roland Hodler, Philine Widmer, and Ekaterina Zhuravskaya, "The political effects of X's feed algorithm," Nature, 2026.](#)

## ATTENTION!! イベント・フォーカス

### ■世界の選挙

2026年2月に日本で実施された衆院選ではいくつかの報道機関が中国の影響工作について報じた。生成AIサービスを使用することで日本語投稿が増加したと指摘されている。影響工作に生成AIを利用するという傾向は4月に総選挙を控えるハンガリーにおいても同様のようだ。1月に大統領選を終えたポルトガルでは反移民関連の偽情報の増加が見られたとされる。

●ハンガリーの野党指導者であるペーテル・マジャール議員 (Péter Magyar) がドナルド・トランプ大統領を侮辱したとする偽りの記事がユーロニュース (Euronews) を模倣したウェブサイトから発信されている。記事ではマジャール議員が選挙集会においてトランプ大統領を激しく非難したとしつつ、トランプ大統領を「老いぼれじいさん」と呼び、選挙で勝利すればアメリカとの合意を破棄することを約束したと主張されている。しかし、これらは捏造された内容である。また、ユーロニュースのブランドロゴを使用してこういった主張を繰り返す動画もソーシャルメディアで拡散されており、中には数千回の再生数を記録しているものもある。偽情報を追跡する調査グループ「Gnida project」はこれらの投稿がロシアの「Storm-1516」によるものであると指摘している (画像3参照)。

[Tamsin Paternoster, "Impersonating Euronews: Pro-Kremlin disinformation network takes aim at Hungary's elections," Euronews, March 24, 2026.](#)

●ニュースガード (NewsGuard) はハンガリー総選挙の前に親露派のヴィクトル・オルバン首相を支持し、対抗馬のペーテル・マジャール議員を貶めることを目的とした生成AI動画をTikTok上で数百本確認した。同機関はTikTok上で34のアカウントからなる匿名のアカウントネットワークを発見し、そのうち22アカウントの作成日が2026年1月に集中していたと言及する。言葉や動物や有名人がマジャール氏を批判する動画、同氏や政党に対する捏造したニュース報道の動画などが発信されている。

[Alice Lee and Madeline Roache, "Influence Campaign on TikTok Uses AI Videos to Boost Hungary's Orbán Ahead of Crucial Elections," NewsGuard, March 20, 2026.](#)

●民主主義防衛財団 (Foundation for Defense of Democracies) の報告によると、X、Tumblr、Blogspot、Quora、YouTubeに投稿を行う330以上の偽アカウントで構成される中国の影響工作ネットワークが発見された。分類される6つのクラスターのうち、最大のクラスターは151のアカウントで構成され、ドナルド・トランプ大統領がファンタジック危機を悪化させているとの主張を展開しつつ、アメリカ人を装うアカウントによる中国擁護の主張も確認された。1つのクラスターは2026年衆院選で圧勝した高市首相を腐敗した、軍国主義的な人物として描写する情報を発信していたと指摘している。

[Maria Riofrio and Max Lesser, "Chinese Online Influence Operation Spreads Anti-American Conspiracy Claims," Foundation for Defense of Democracies \(FDD\), Feb 26, 2026.](#)

●欧州委員会から資金提供を受け、スペインとポルトガルを拠点とするデジタルメディア監視機関「IBERIFIER」によると、ポルトガルの2026年大統領選挙期間中に拡散した偽情報に最も頻繁に見られたテーマは移民であった。2025年12月22日以降、同機関は特に重大な偽情報事例を48件特定し、そのうちの8件が移民に関するものであった。これらの移民偽情報はバングラデシュ、インド、ネパールといった国々出身の個人を標的として、しばしばこれらの出身者を無関係のイスラム教と結びつけ、移民が「ポルトガルの」、「欧州の」、「キリスト教の」価値観を侵食するものであると示唆していた。

["Immigration-related disinformation leads misleading content during Portugal's 2026 presidential election period," IBERIFIER, 19 January 2026.](#)

作成者：日本のサイバー安全保障の確保III・鈴木涼平

(画像3) マジャール議員がトランプ大統領を攻撃していると主張する偽記事・投稿



出典：Euronews

### Check Out!! 「インド太平洋地域の偽情報ポータル」に事例がアーカイブされています!

笹川平和財団ではアジア地域を中心にさまざまなテーマに関連した偽情報事例を集約しております。

右のQRコード、あるいはこちらのリンク (<https://www.spf.org/cyber/>) からアクセスが可能です。

(定期更新の都合により、本ニュースレターに記載の事例はポータルに反映されていない場合がございます)

